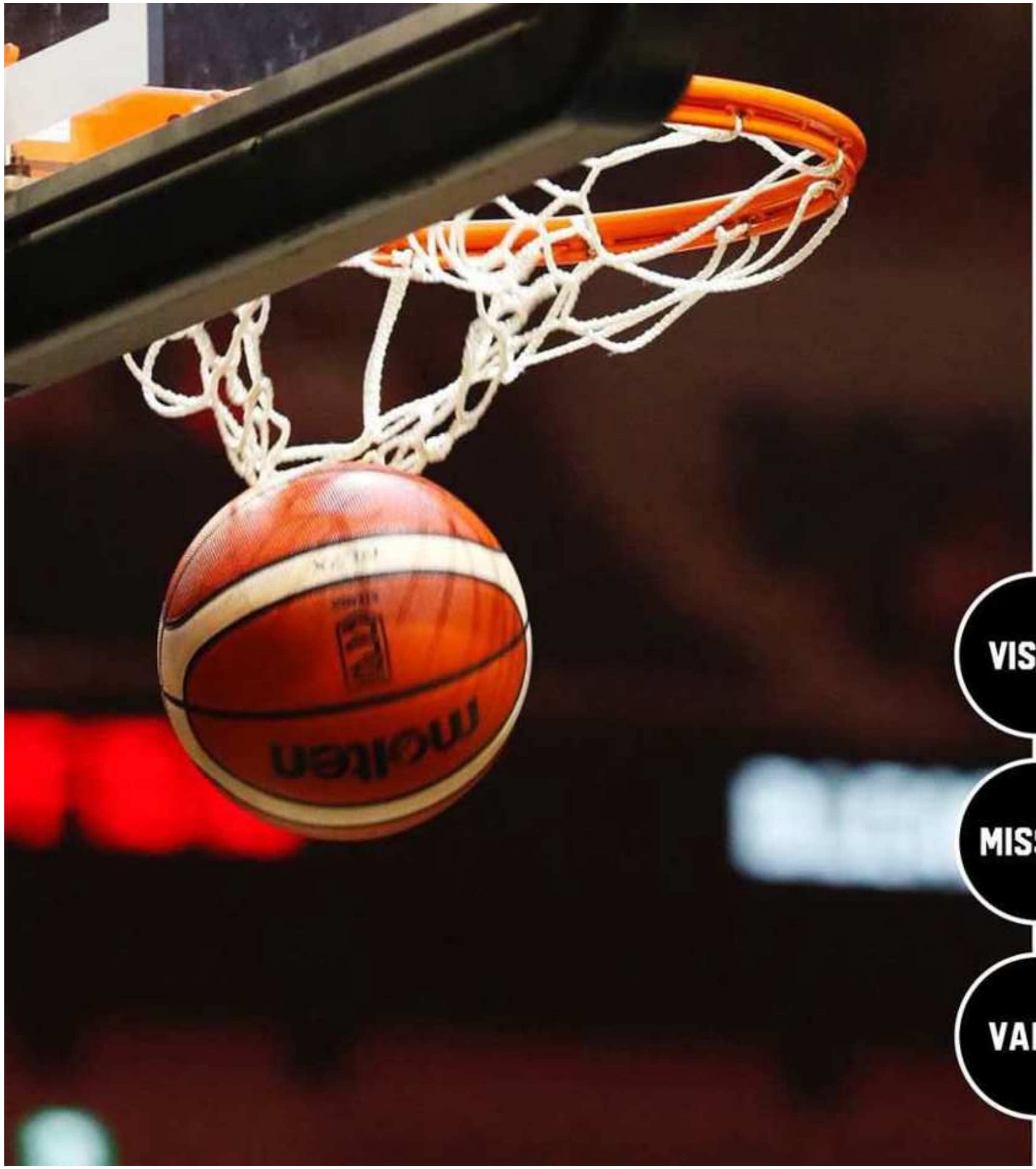
資料7

B.LEAGUE BEYOND 2020

- 超えて 未来へ -



Energizing Japan With BasketBall

バスケットボールで日本を元気にします！

VISION

- 国民的スポーツとしての認知度向上
- NBAに次ぐリーグとしての地位確保
- 憧れの職業NO.1、就職したい企業NO.1

MISSION

- 世界に通用する選手やチームの輩出
- エンターテイメント性の追求
- 夢のアリーナの実現

VALUE

- BREAK THE BORDER
  ～前例を笑え、常識を壊せ、限界を超えろ～

2016年の開幕以来、
B.LEAGUEは
様々なチャレンジをしてきました。

BEYOND 2020

-超えて 未来へ-

2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030

1ST PHASE

B.LEAGUEの立ち上げ
スマホファースト
クラブライセンス制度導入

平日開催の増加
オンザコートルール改革
アンダーカテゴリー始動

事業状況

◆ バスケ業界全体の営業収入は、制裁後のタスクフォースで立てた目標（2022-23シーズン終了時営業収入300億円）に対し、**2シーズン前倒しで303億円**を達成

◆ うちクラブ収益の合計は3シーズンで**2.6倍**に成長

	2015-16 NBL bj league	B.LEAGUE 2016-17 SEASON	B.LEAGUE 2017-18 SEASON	B.LEAGUE 2018-19 SEASON	開幕3年間の成長率
入場者数	162万人	224万人	250万人	259万人	1.6倍
JBA収益	14億円	23億円	30億円	38億円	2.7倍
リーグ収益	8億円	46億円	48億円	50億円	6.2倍
クラブ収益	83億円	150億円	195億円	215億円	2.6倍
事業収益計	105億円	219億円	273億円	303億円	2.9倍

※2018-19収益は見込値

日本人初の1億円プレーヤー誕生（2019年6月3日）

YUKI TOGASHI

千葉ジェッツ　#2

富樫勇樹選手（日本代表、26歳、167cm、65kg）

BASKETBALL NEW ERA

バスケットボール新時代の到来

B.LEAGUEは、開幕から3年 様々な面で順調な成長を遂げています。
バスケ界全体でも、13年ぶりのFIBAワールドカップ本大会出場が決まり、
東京2020オリンピックでも44年ぶりに出場が決まりました。

日本人として初めて、NBAドラフト1巡目指名を勝ち取った
八村選手の活躍にも期待がかかり、
日本から世界に通用する選手が徐々に輩出されるようになりました。

バスケ界に今までにない追い風が吹き、
これからはバスケ界にとって
前人未到の新時代に突入していきます。

昭和はプロ野球で日本全体が盛り上がり１つの文化になり。
平成はJリーグが一世を風靡。

そして、新しい時代、令和。

令和はバスケを
国民的スポーツにしていきます。

(C)J.LEAGUE PHOTOS

TO 2ND PHASE

次のステージを目指して連続した革新、非連続な成長を進めます。

1 ソフト・ハードの一体経営

・ナショナルアリーナを含めた夢のアリーナを全国に10ヶ所以上展開
・“日本版AEG”を目指したコンソーシアム形成

2 デジタルマーケティングの進化

・新チケットシステムによる顧客拡大
・統合データベースの活用とマネタイズ

3 メディアカンパニー化

・「参加する」「会話する」双方向型メディア
・ Sportec 等テクノロジーを駆使した新体験の提供

4 アジア戦略の本格稼働

・アジアの選手獲得を起点とした海外放送権販売、インバウンドの拡大
・アジアにおけるリーダーシップ、ガバナンスとプラットフォームの輸出

5 地域創生×バスケットファミリーの拡大

・中高生競技者数No.1、バスケットファミリーの力の結集で地域を元気に
・未就学児含めて子供のころからバスケに触れる機会の創出

BEYOND 2020

-超えて 未来へ-

1 ソフト・ハードの一体経営

BEYOND 2020
-超えて 未来へ-

2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030

B.CLUB
ローカルアリーナ

沖縄 豊橋 滋賀 千葉 香川
川崎 佐賀

“バスケの聖地”
ナショナルアリーナの実現

“魅せるアリーナ”によりバスケットボールの観戦体験は劇的に変化

一体感・臨場感

ホスピタリティ

パートナーシップ

地域サービス”ハブ”

1 ソフト・ハードの一体経営

“DREAM ARENA”

B.LEAGUEが目指す夢のアリーナは“観戦のため”ではなく、地域発展のためのアリーナ

海外では“ホームアリーナ”の誘致合戦が生じているほど地域発展にとって需要な起爆剤。私たちB.LEAGUEもクラブの価値を上げると同時にアリーナの価値最大化に挑みます。

BEYOND 2020

-超えて 未来へ-

B.LEAGUEが掲げるミッションの一つとして、
「夢のアリーナの実現」があります。

夢のアリーナの実現

体育館ではありません。「アリーナ」です。
夢のアリーナを作り、非日常の空間を存分に楽しめる、日常でも地域内外の人々が集まれる、、、

夢のアリーナの実現により、B.LEAGUEは次のステージに進み、日本国内にこれまで存在しなかったスポーツエンターテイメントを皆様に提供致します。

今、全国でスポーツ庁　等が推進する23ものアリーナに関する事業が動き出しています。さらにその数は拡大する見込みです。

10,000人規模の収容、充実したスイートやラウンジ、NBAのような大きなビジョン、、、、期待や興奮で心が弾みます。

また、今シーズンのFINALも横浜“アリーナ”で開催致しました。リボンビジョン、コンコースでの飲食・イベント、100万円のDream BOX Sheet 等に取り組みました。

まだまだ課題はありますが、小さくても大事な一歩を踏み出すことができました。

“CAPABILITY”

夢のアリーナ実現に必要なケイパビリティは
多岐に渡る。その中でもホームクラブが担うべき期待は大きい。

B.LEAGUE・B.Clubは日本におけるアリーナ文化の
醸成・地域創生に尽力致します。

- エリアマネジメント
- コンテンツマネジメント
- ビジネスパートナーシップマネジメント
- イベント・ファンオペレーション
- アリーナオペレーション

NATIONAL ARENA

B.LEAGUE

THANK YOU

JAPAN PROFESSIONAL BASKETBALL LEAGUE